

第 1 学年 算数科 『1 学期のまとめ』 略案

指導者 伊藤 登世子
中村 寛司
伊東 真理子

1. 日時 7月 16日 (水) 2校時 (9:20~10:05) 多目的教室

2. ねらい ○既習事項のたし算とひき算の習熟を図る。

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
9:20	<p>あらかじめ、子どもたちはコースごとに分かれておく。(4つのコース)</p> <p>～多目的教室で学習する子どもたちの動き～</p> <p>1. 算数博士とあいさつをし、算数博士の出すたし算の問題に答える。</p>	<p>○計算問題コース・・・伊藤、伊東(1松、1竹各教室)</p> <p>○文章問題コース・・・中村(多目的教室)</p> <p>○問題作りコース・・・センター指導主事(多目的教室)</p> <p>・多目的教室では文章問題コース、問題作りコースの児童が学習する。</p> <p>～多目的教室の学習について～中村の支援</p>	<p>・問題作りコースを担当する。 (多目的教室)</p> <p>・難易度の高いたし算やひき算の問題を数問出題する。</p>
9:30	<p>2. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>たしざんやひきざんをばっちりしよう (問題作りコースの課題) えををみて、たしざんやひきざんのおはなしをつくろう。 (文章問題コースの課題) ぶんしょうをよくよんでかんがえよう。</p> </div>	<p>・2つのコースそれぞれの課題を提示する。</p>	
9:35	<p>3. (問題作りコース) 学習の仕方を知り、問題作りに取り組む。 できた問題を算数博士に見てもらい、アドバイスをもらう。 (文章問題コース) たし算、ひき算の混じったプリント学習に取り組む。</p>	<p>・算数博士に指導を受ける子どもたちの発表の支援を行う。</p> <p>・問題を作れないでいる子どもたちに支援をする。</p> <p>・たし算ひき算の言葉に注目して考えるよう声をかける。</p>	<p>・たし算やひき算の問題作りをすることができるような絵を用意して頂ければと思います。</p> <p>・子どもたちの問題文を見て支援を行う。</p>
10:00	<p>4. ふりかえりをする。</p>	<p>・2つのコースそれぞれ3名程度ふりかえりを発表するようにする。</p>	<p>・子どもたちの頑張りを賞賛する。</p>